JR East Transport Service Worker's Union
JR東日本輸送サービス労働組合
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
2025,05,20

THE MAIL NEWS

公式ホームページ　公式SNS (X)
No. 244

申39号

2025年度夏季手当に関する申し入れ

5月20日（株）JR東日本ステーションサービスへ提出

夏季手当

基本給月額の（契約社員を含む）

3.3ヶ月分

申し入れ事項

1．２０２５年度夏季手当については、「真の笑顔と活気あふれる職場」を創造するために、基本給月額の３.３ヶ月分（契約社員含む）を支給すること。

2．ＪＲ東日本ステーションサービスの持続的成長が図られる受託契約となる見直し協議を進めていくこと。なお、組合員・社員が、長きに渡り働き続けられ、将来に希望・展望をもてるよう情報開示等を積極的に行うこと。

3．この要求に対する回答については、２０２５年６月１２日までに行うこと。また、支払い指定日は、２０２５年６月２７日までとすること。

「会社の持続的成長の源泉は、社員一人ひとりの成長である」と述べたJESS森山社長の発言を具現化すべき!

労働の価値の低下を招くことなく「働きがい」と「生きがい」を醸成させていくことは企業としての責務だ!

2024年度期末決算＝増収減益であったものの黒字基調を堅実なものとした組合員の苦闘に応えよ!

すべての人が生きがい・働きがい・心の豊かさを実感できる夏季手当の実現を果たすべき!

満額回答を強く求める!

JR East Transport Service Worker's Union
JR東日本輸送サービス労働組合
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
2025,06,04
THE MAIL NEWS
公式ホームページ　公式SNS (X)
No. 255

申39号

2025年度夏季手当に関する申し入れ

6月3日　第1回団体交渉開催

私たちの要求

基本給月額の（契約社員を含む）**3.3ヶ月分**

組合員・社員の努力により黒字を達成!
その努力に満額回答で答えるべきだ!

輸送サービス労組から趣旨説明を行う！

- 現場では安全レベル・業務知識・サービス品質の向上に努め、JR東日本グループの信頼を築き上げてきた。その努力によってJR東日本ステーションサービスの２０２４年度期末決算は営業利益169億3400万円（対前年比102.7%）を計上できた。売上総利益・営業利益・当期純利益は対前年比減益であったものの、受託契約額の見直しやコスト削減に向けた取り組みにより、継続して黒字化を実現することができた。
- 「輪軸圧入データの改ざん」「モーターの不正検査」さらには、ホテルメトロポリタンでの不正に価格を引き上げるカルテルの「独占禁止法違反」、ジェイアール東日本企画による「人件費水増し請求」など相次ぐ不正によりＪＲ東日本グループの信頼は失われている。企業ガバナンスが問われている。
- 日用品の値上げ、エネルギー価格の高騰など物価高の影響は社員、家族の生活に重くのしかかっている。依然として物価高に賃金が追い付いていない。企業の社会的責任として「物価高」を重視した「人への投資」として賃金・手当の引き上げを主柱とした総合労働条件の改善に取り組み、日本社会の好循環をつくるべきだ。
- 「会社の持続的成長の源泉は、社員一人ひとりの成長」と述べられている。成長に対する適正な評価と対価なくして持続的成長はあり得ない。働く者を大切にした企業倫理、労働の価値を低下させることのない「働きがい」「生きがい」の醸成なくして安全と輸送サービス品質向上は実現しないことからも満額回答を強く求める！

会社の現状認識

- 中期経営計画「JESSビジョン2027」のもと安全レベル、業務知識、スキル・サービス品質の向上に努めていただいた。また、人口減少・少子高齢化という厳しい環境変化を踏まえ、様々な取り組みに果敢にチャレンジしていただいた。
- 社員の皆さん一人ひとりの成長は強靭な経営体質や当社の成長にも寄与するものであり改めて感謝する。
- 昨年度はJR東日本グループの信頼を揺るがす事象が複数発生した。
- 営業費用の大半は人件費であり、社員数や賞与の支給額が大きく決算に反映する。
- より一層の生産性向上に努め新たな収益確保にもチャレンジする。

要員不足の中でも、収益確保と信頼回復のために奮闘してきた職場の声を訴える!

組合

- 少ない人数で業務を回しているのが実情。３年以内の若手社員が相次いで退職しており、人材流出に歯止めがきかない。休日出勤・買い上げ勤務が当たり前になっている。人材確保のビジョンはあるのか。
- 不正によるJR東日本グループの信頼低下の一方で現場では信頼回復のため日々、利用者の皆さまと接している。その苦労をしっかりと受け止めるべきだ！
- ＪＲ東日本は事業体系、賃金改定を提案しているが、JESSとして何か考えはあるか。また、会社から述べられた「新たな収益確保」とは何か。

会社

- 人材確保のため賞与・賃金だけではなく諸手当・就業規則改正で働きやすい職場の実現に向けて制度改正を実施してきた。今後も引き続き取り組んでいく。**確認!**
- JESSの体制はJR東日本とイコールということではなく、すぐに体制変更をするものではない。軸は駅業務である。全く関係のない新しい業務ということではなく、地に足の着いたことを行っていく。

組合員の働きがい・生きがいの醸成がJR東日本ステーションサービスの持続的な成長に繋がり、企業価値創造に寄与する。「人への投資」を今こそ行うべきだ!

JTSU JR East Transport Service Worker's Union
JR東日本輸送サービス労働組合
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
2025,06,13

THE MAIL NEWS

公式ホームページ　公式SNS (X)
No. 264

申39号

2025年度夏季手当に関する申し入れ

6月13日 第2回団体交渉開催

(株) JR東日本ステーションサービスより、会社回答を受ける

◆ 社員：基本給月額の**2.70箇月分**
（昨年：2.60箇月分）

平均年齢：31.6歳　平均支給額：676,935円
平均基本給：250,717円　正社員数：1993人

◆ 契約社員(約300名)：基本給月額の **2.00箇月分** （昨年：1.00箇月分）

◆ パート社員(約260名)

（1）労働実績が週平均30時間以上の者：**15万円** （昨年:12万円）
（2）労働実績が週平均10時間以上30時間未満の者：**10万円** （昨年:8万円）

※2025年6月1日現在在籍し、2024年下期各月に労働実績がある者に限る。
※その他雇用契約書の定めによる。

◆ 支給日：2025年6月27日(金)

【参考】正社員：1,880名・契約社員：約250名・パート社員：約250名

職場の声に基づく要求によって昨年を上回る回答を実現！

賃金、諸手当の改善および福利厚生等の充実を図るとともに、
タブレット端末(SSタブ)などの労働環境の整備に努めていくことを確認！！

以上の認識一致を図り、妥結を通告！